

事業再生のみちしるべ

Vol.4 自分の会社は健康ですか

会社にも健康診断が必要です

人は定期的に健康診断を受けますが、中小企業では外部の診断を受ける機会はありません。財務調査は、人に置き換えると健康診断であり、会社の健康状態を診断する手続きです。

仮に異常が発見された場合には、精密検査にあたる「財務デューデリジェンス」を実施します。財務デューデリジェンスは会社の財務状態、資金繰り等を詳細に調査する手続きで、主として私たちのような専門家が客観的な診断を行います。

私たちが調査において最も重視するのは貸借対照表です。貸借対照表の内容を精査し、時価に修正することにより実質純資産(正しい自己資本)を算定します。その結果、資産より負債が多い場合は、その時点で会社を清算しても負債を全額返済できない状態、いわゆる「債務超過」ということとなります。

収支面の評価において、近年では損益計算書よりも資金の流れを示すキャッシュフロー計算書を重視する傾向にあります。常に設備の更新投資などを必要とする業種もあり、損益計算書だけでは正確な収益性の判断はできないからです。

業績の悪い会社ではよく利益調整(粉飾決算)が行われていますが、損益計算書上で利益を調整しても、貸借対照表に異常値が発生しますので、隠し続けることは出来ません。債務超過やキャッシュフローがマイナスの場合には、会社は健康な状態ではないと認識し、至急対策を検討すべきであると考えます。



ビズリンク・アドバイザー株式会社
取締役パートナー(税理士) 中井 功